

# UXヒートマップサービス紹介資料

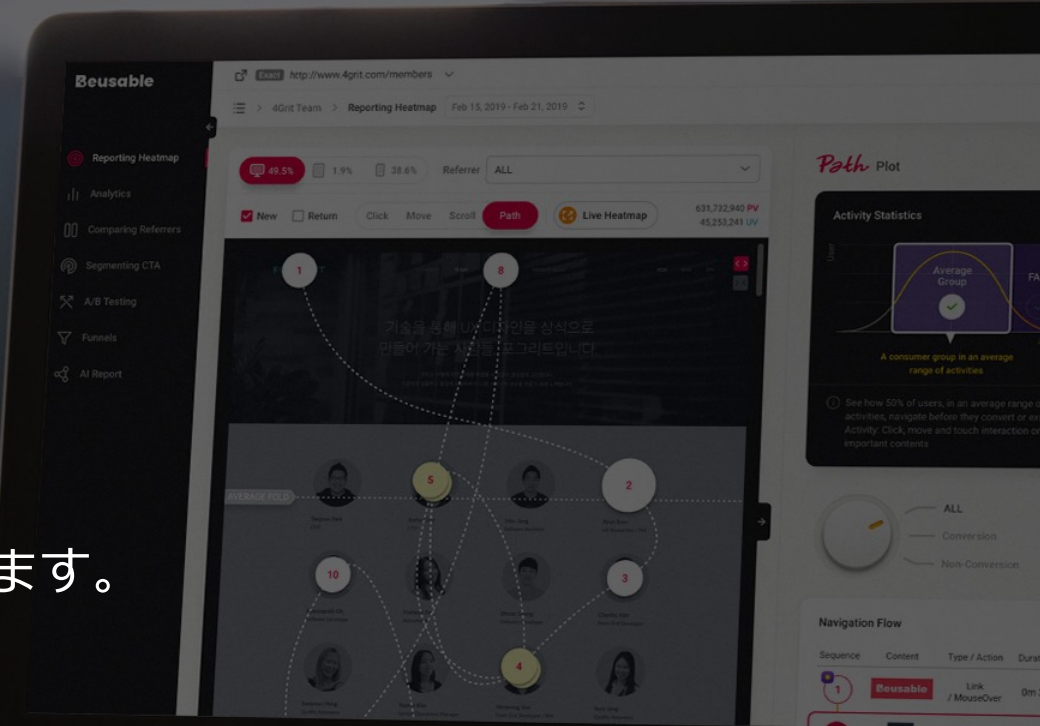
Version 3

**UX** データ分析のための  
オールインワンツール

株式会社 ビューザブル

[contact@beusable.co.jp](mailto:contact@beusable.co.jp)

UXヒートマップは、  
WEBサイトにアクセスした  
ユーザーのデータを測定し、可視化します。

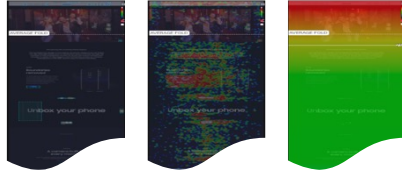


# 目次

UXヒートマップ、ユーザー分析および活用	4
全ての企業と業種に活用できるUXヒートマップ	5
全ての業務に活用できるUXヒートマップ	6
UXヒートマップの主な機能	7
UXヒートマップ機能	8
UXヒートマップのユーザービリティ	18
UXヒートマップユーザーコード収集情報	19
併用すると相乗効果があるUXヒートマップ	20
お客様サポートプログラム	21
お取引先およびビジネスパートナー	22
よくあるご質問	23
CONTACT US	25

# UXヒートマップ、ユーザー分析および活用

## ユーザー動向分析



ユーザーのクリック、ムーブ、スクロール状況を把握  
PV、UV、クリック数、ホバー数など、ユーザー行動の定量指標データを取得できます。

▶ ユーザーの関心要素、関心領域、選択をしなかったボタンやメニュー、若しくは消費したコンテンツ範囲を把握できます。

## ユーザー経験分析



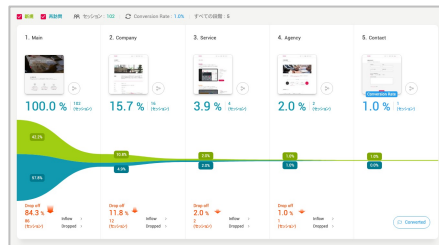
流入経路 すべて

新規  再訪問

+

ユーザータイプをセグメントごとに分け、ユーザーイベントを多様なセグメントで表現し、ユーザーの行動過程を可視化することで、特定ユーザーの特徴などを把握できます。

▶ クリック数が多い、少ないという単純な指標だけではなく、ユーザー行動の理由とユーザー経験の過程や原因把握もできます。



## 具体的な改善案把握

ユーザーがWEBサイトにアクセス後、問題になるWEBサイトをターゲットにユーザー行動を分析し、改善点を把握

▶ ユーザー行動だけでなく、WEBサイト問題点を特定し、具体的な解決方法を把握・検証できます。

# 全ての企業と業種に活用できるUXヒートマップ

ビューザブルは企業の規模や業種に関係なく、誰でも簡単に「仮説—測定—検証段階」の分析ができます。データに基づいた現状把握や具体的なソリューション提案にまでつなげることができます。

企業	業種	データを通じた現状把握
<ul style="list-style-type: none"> <li>大企業</li> <li>中小企業</li> <li>SMB</li> <li>スタートアップ</li> <li>個人事業主</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>EC</li> <li>金融/保険</li> <li>メディア及びコンテンツ</li> <li>メーカー</li> <li>教育</li> <li>旅行</li> <li>エイジェンシー</li> <li>製造</li> <li>IT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最適化をどの様にするべきか?</li> <li>どの様なユーザーアクションが想定されるか?</li> <li>現在のトレンドが持続するか否か?</li> <li>なぜユーザーはこの行動をしたのか?</li> <li>この状況では、どの様な行動を取らなくてはいけないのか?</li> <li>具体的にどこに問題が発生したのか?</li> <li>どれくらい頻繁に発生したアクションなのか?</li> <li>ユーザーはどの様なアクションをしたのか?</li> </ul>

データ分析  
能力向上

Fact-Based  
データドリブン

具体的な  
ソリューション  
提案

# 全ての業務に活用できるUXヒートマップ

ビューザブルは、リサーチから企画/デザイン/開発/運営まで、サービスの全ての段階でご活用いただけます。

## UXヒートマップを活用したユーザーデータ分析

### サービス企画

- 具体的なユーザーの把握
- ユーザーニーズを踏まえたサービス改善、ページ遷移率最適化
- データドリブンによる意思決定進行

### マーケティング

- マーケターが設定したファネルを細く理解し、ユーザー最適化をサポート
- 配信広告、コンテンツマーケティング成果を分析し、ページ遷移率及び最適化をサポート

### UX / UI デザイン

- UIのユーザビリティ問題発見及び改善
- CTA最適化のヒント提供
- ユーザー予定及びページごとにデザイン最適化

### 営業

- ユーザーが反応するメッセージとコンテンツを把握後、営業資料に活用

### 開発及び運営

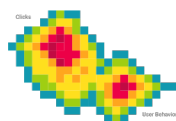
- ソフトウェア上の問題点、コーディング上のエラー等で、ユーザーが感じる不便性を迅速に理解し、問題再現と、解決にかかる時間を短縮
- データ分析サポートリソース節約

### CS

- 顧客が直面した状況を再現し、問題を理解した後、すぐに解決できるようサポート

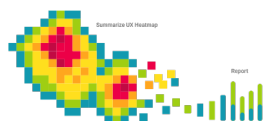
# UXヒートマップの主な機能

サイトを訪れたユーザーのアクセスデータ、行動データを可視化します。  
原因、結果、ユーザー行動の過程まで把握できます。



## UX Heatmaps

すべてのデバイスの様々なUXデータを可視化したヒートマップ



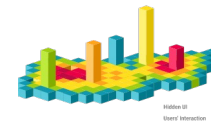
## Reporting Heatmaps

ヒートマップ分析結果と  
イシュー自動要約・整理



## User Analytics

ユーザーの訪問/フロー/  
環境の分析



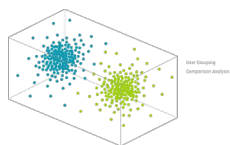
## Live Heatmap

動的コンテンツに対する  
トラッキング(UI)



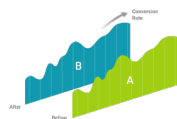
## Path Plot

ユーザーの  
探索順序を  
ゲイズプロットで提供



## Segmenting CTA

クリックしたユーザー、  
クリックしていない  
ユーザーのデータ分析



## A/B Testing

UX改善効果比較



## Funnels

流入からページ  
遷移までの段階ごと  
離脱率を確認



## Session Report

個別ユーザーの  
サイト内、探索順番を  
把握



## Comparing Referrers

流入経路別  
ユーザー特性を比較

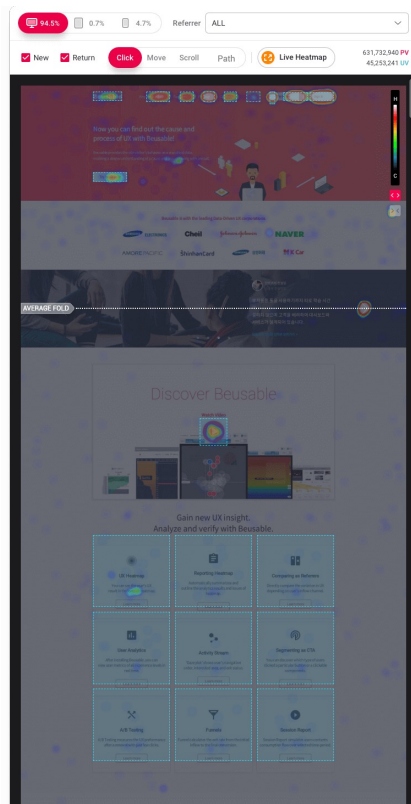
# UXヒートマップ機能 : UX Heatmaps

複雑なエクセル整理をする必要がありません。

Reporting Heatmapsが自動で多様な指標を一目で分かるように整理し、レポートします。

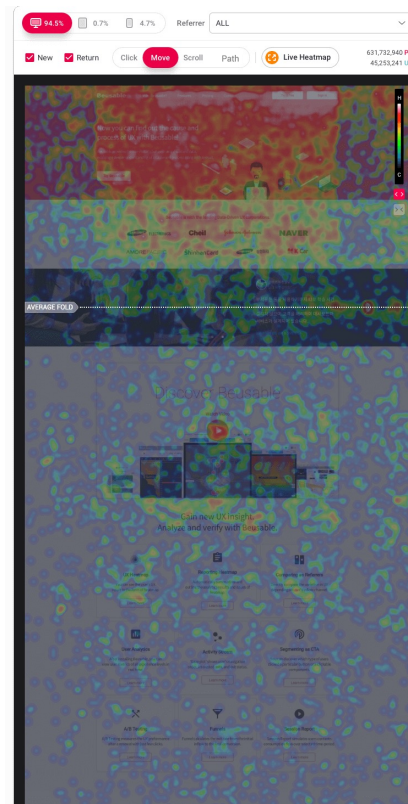
## Click Heatmap

インタラクションに関わる要素の  
クリック、ページ遷移のための指標



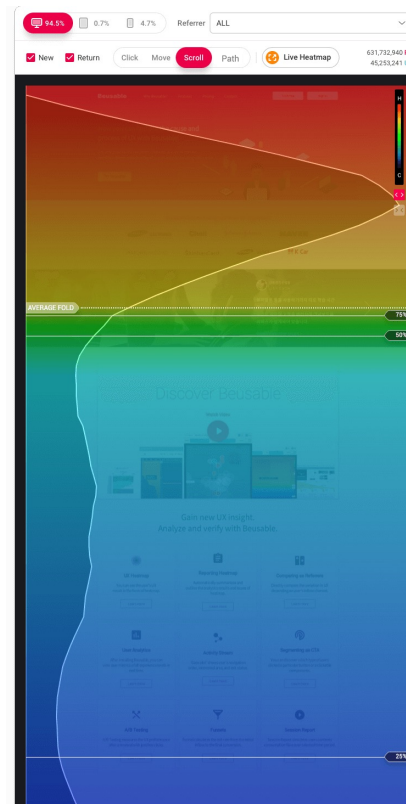
## Move Heatmap

ユーザーの関心があるポイントの  
コンテンツの探索状況



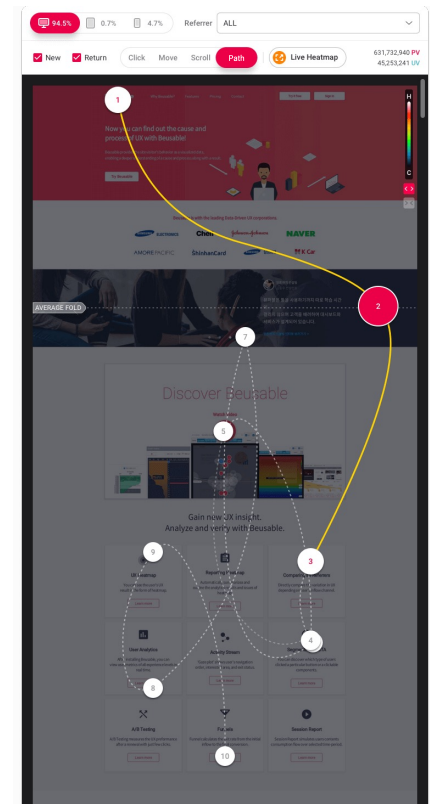
## Scroll Heatmap

スクロール位置別のユーザー状況、  
コンテンツ熟読区間



## Path Plot

ユーザーの探索フロー、  
探索段階ごとの関心や離脱状況





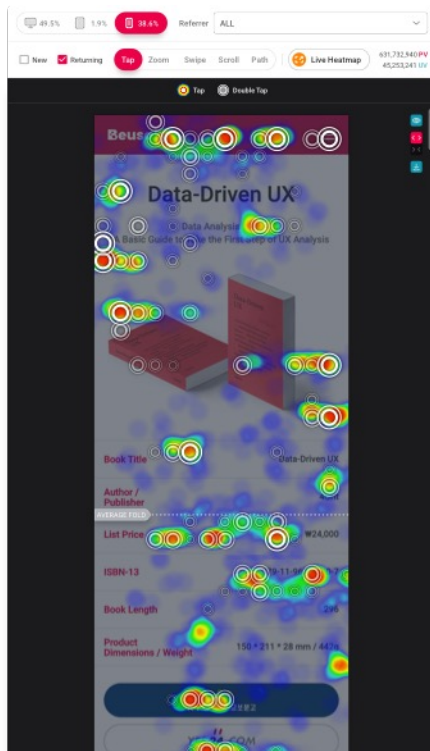
# UXヒートマップ機能 : UX Heatmaps for Mobile

ユーザーはデバイス環境によって全く異なる経験をします。

モバイルユーザー経験分析に最適化されたヒートマップで、ユーザーにもう一步近づきましょう。

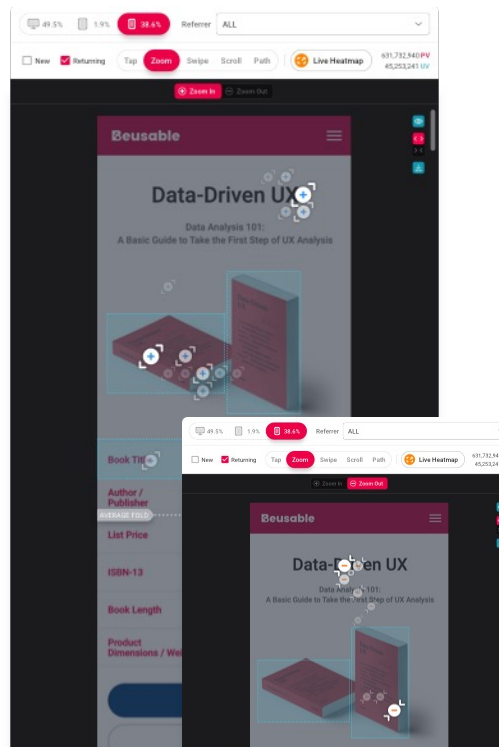
## Tap Heatmap

ユーザーに選ばれたコンテンツはどれでしょう？  
タップ・ダブルタップヒートマップでモバイルユーザーに選ばれたコンテンツとその割合が確認できます。



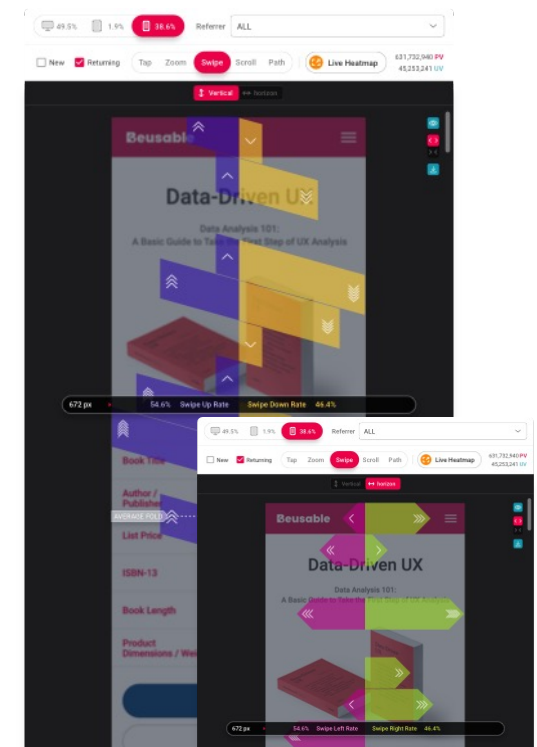
## Zoom Heatmap

ユーザーがより詳しく見ようとしたコンテンツが何か気になりませんか？  
ズームイン・ズームアウトヒートマップで、ユーザーが興味を持ったコンテンツが何か確認できます。



## Swipe Heatmap

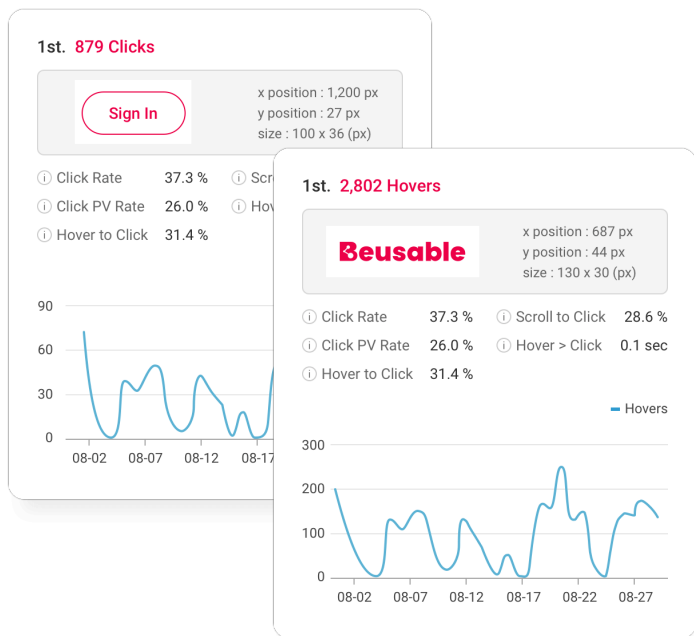
モバイルユーザーのカスタマジャーニーが気になりませんか？  
上下、左右スワイプヒートマップで、区間別、コンテンツ別ユーザーのカスタマジャーニーを確認できます。



# UXヒートマップ機能 : Reporting Heatmaps

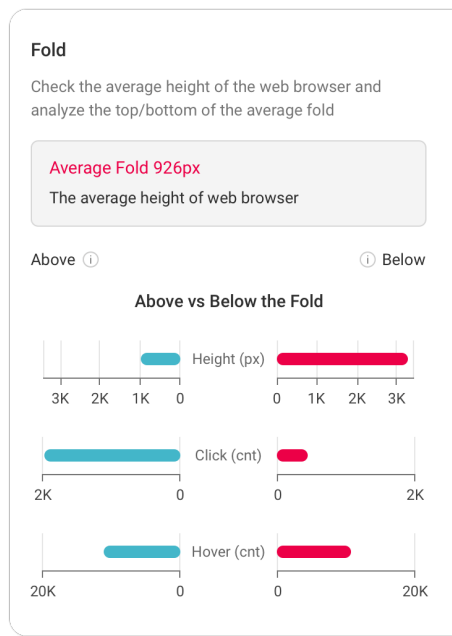
ヒートマップは強力なUX分析ツールですが、どう解釈したら良いか悩む方も多いでしょう。

UXヒートマップ主要 이슈をレポートでご確認ください。主要指標とグラフを整理して提供します。



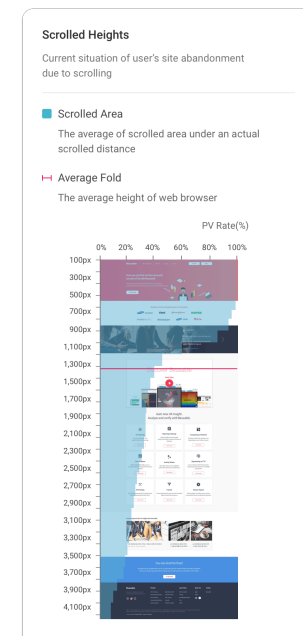
## マウスクリックと移動情報分析

- クリック数：クリックを多く発生したコンテンツ順位を最大5位まで表示できます。
- 純クリック数：純クリックが多く発生したコンテンツ順位を最大5つまで表示します。
- ホーバー数：ホーバー(アクセス)数が多く発生したコンテンツ順位を最大5つまで表示します。クリック情報と比較してコンテンツ転換比率を把握出来ます。



## 高さ別ユーザー活動水準比較

Average Fold上下段利用行きのユーザー探索水準を比較できます。



## 高さ別ユーザー到達比率

ページスクローリングにより、高さ別ユーザーのコンテンツ到達比率を表示します。特定高さに表示されたコンテンツ別に画面に残存したユーザーを到達率を把握できます。

# UXヒートマップ機能：セグメント機能

UX Heatmapでは、ユーザーをより細かく分析するために、多様なセグメント機能を提供しております。複数のSegment機能で、ユーザーを具体化し、ユーザーの解像度を高めて、UXを改善しましょう。

## Camapaign機能

UTMパラメータ機能で、ユーザーを細分化し、広告の媒体別の流入したユーザーのUXヒートマップを分析できます。

## 流入経路

ユーザーがどの媒体から流入しているか、どの媒体からのアクセスが多いのか流入経路を把握できる機能です。

## 照会期間

期間を設定し、閲覧したい期間に収集したデータを確認できます。

## 新規/再訪問

Webサイトに初めてアクセスしたユーザーか再訪問したユーザーが区別する機能です。  
(ビューザブルのタグを設置以降から、ユーザーを区分できます)

## 時系列グラフ Plus Plan 専用の機能

時間単位で、ユーザーにデータを確認してみましよう。日数だけではなく、具体的な時間帯別のユーザーのUXを分析できます。

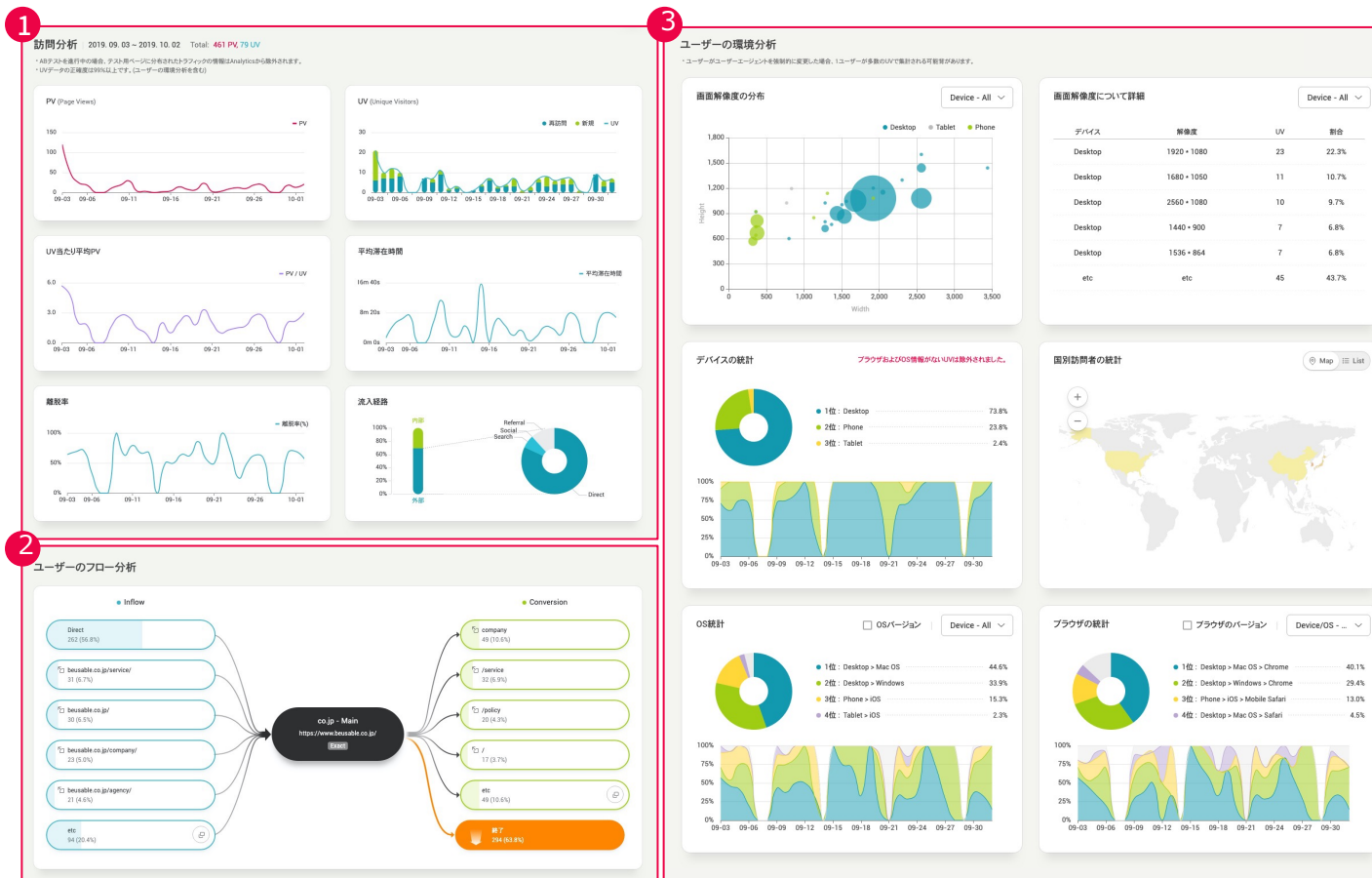
## 訪問頻度 Plus Plan 専用の機能

登録したページで訪問したユーザーの頻度によって、セグメントを適用できます。

# UXヒートマップ機能 : User Analytics

サービスに欠かせないデータ指標を提供しております。

UXを改善する際に主に活用する指標で、ユーザー規模や環境を確認できます。



## 1 ページ訪問規模

- PV (Page View)
- UV (Unique Visitors)
- UV 当たり 平均 PV
- 平均滞在時間
- 離脱率

## 2 ユーザー行動フロー

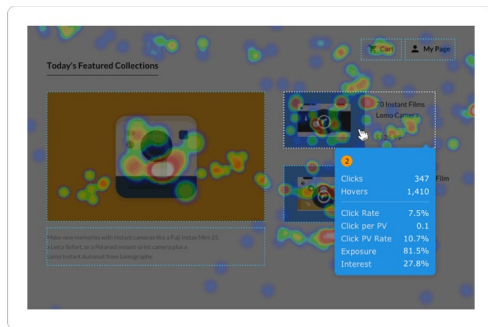
- ページ流入経路
- ページ移動経路

## 3 ユーザーの環境分析

- モニター解像度分布
- モニター解像度の詳細分布
- デバイスの統計
- 国家統計
- OS統計
- ブラウザー統計

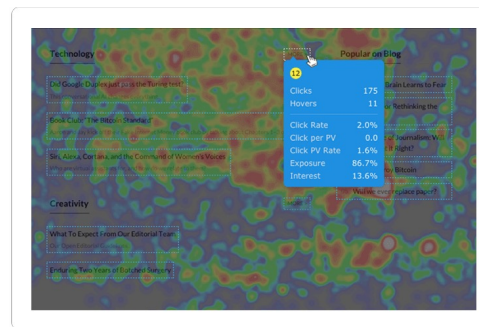
# ビュアーブル機能：Live Heatmap

ユーザーが経験した画面上で、同一のインタラクション機能をシミュレーションし、データ分析を実行できます。



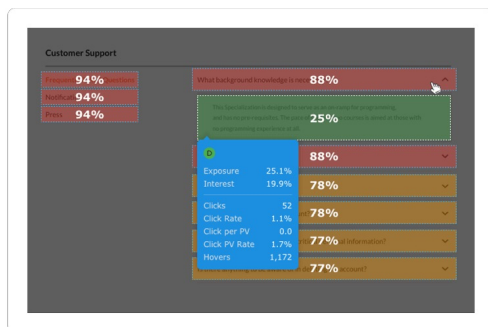
## 1 Click Heatmap

ユーザーがどの箇所を、どれだけクリックしているか把握できるヒートマップ。多くクリックされた箇所が赤く表示されます。



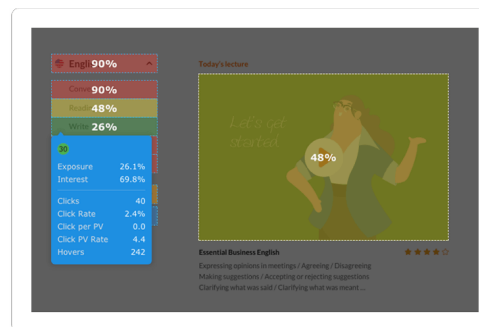
## 2 Move Heatmap

マウスの移動を追跡して、ユーザーの興味や関心を抽出できるヒートマップ。マウスを多く動作させた箇所が、赤く表示されます。



## 3 Exposure Heatmap

詳細など、メニュー内に隠れた要素が、ユーザーにどの程度露出されたか確認できます。アコーディオンメニューで隠しコンテンツなど、コンテンツの露出度が確認できるヒートマップ。

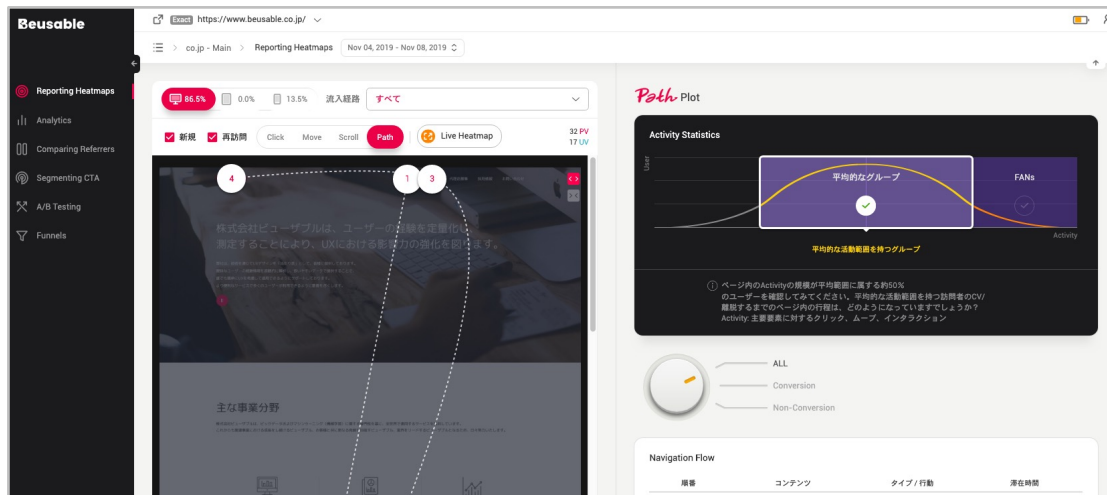


## 4 Interest Heatmap

露出されたコンテンツに、ユーザーがマウスを近づけた割合を表示します。コンテンツの消費具合を、カラーと数値ですぐに確認できます。

# UXヒートマップ機能：Path Plot

ページ毎にユーザーのフローを一目で確認してみてください。  
ユーザーのコンテンツ消費順番や過程、滞在時間、主な探索情報を把握できます。

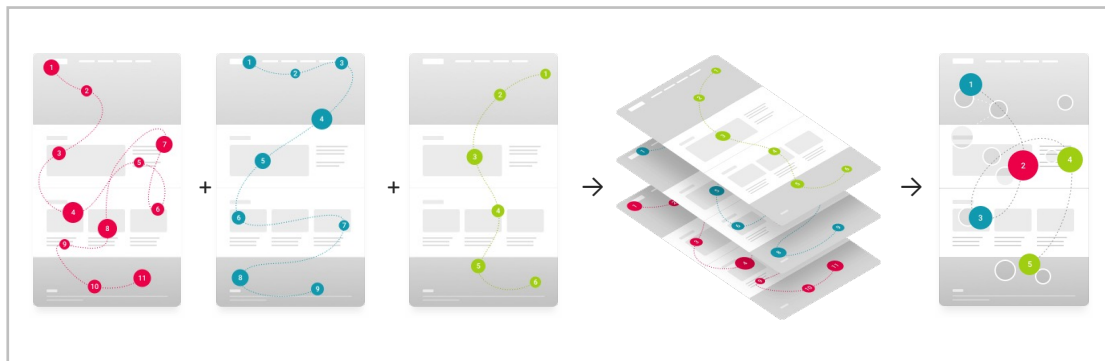


## ① ユーザーの移動フロー

ビューザブル特有のパス・プロット(Path Plot)で、全てのユーザーを代表するGaze Plotを確認し、探索移動フローと滞在時間、タイプ/行動、要素情報を把握できます。

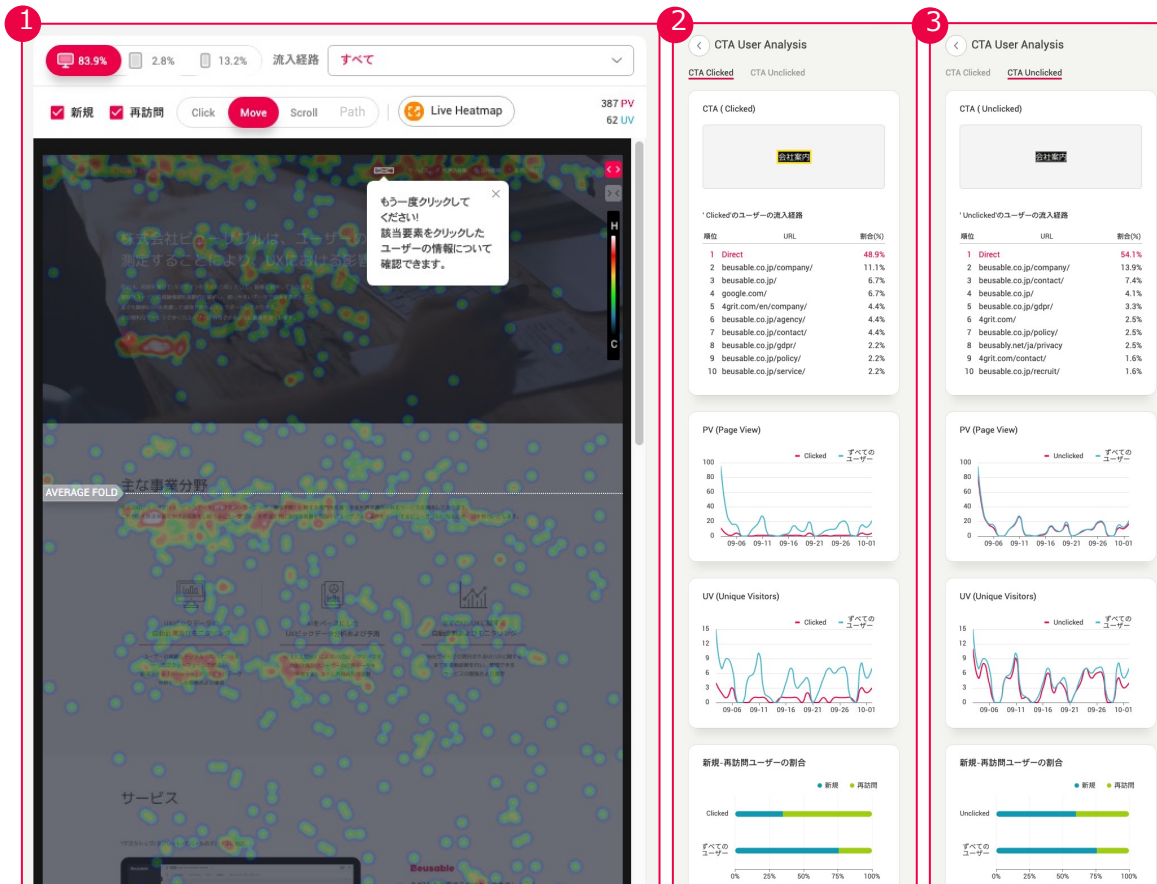
## ② ビューザブルのパス・プロット(Path Plot)の生成過程

これからは、ビューザブルのAIを基盤としたPath Plot技術で、全てのユーザーの探索過程を自動で記録し、正規化できます。



# UXヒートマップ機能 : Segmenting CTA

ページ内の主要なCV要素である、CTA (Call-To-Action)をクリックしたユーザー情報と、クリックしていないユーザーの情報を、逆追跡し、レポートで提供します。複雑な別途のタグ付けなどは不要となります。



## ① データのCVおよび比較

CTA要素をクリックしたユーザー情報と、クリックしていないユーザー情報を、簡単に比較・分析できます。

会員のデータベースの連携により、ユーザーの個人情報(年齢、性別、地域など)ごとに情報を再構成できます。

## ② CTA要素をクリックしたユーザー情報

ヒートマップで逆追跡したいCTA要素を選択すると、該当要素をクリックしたユーザーの情報(クリック/ムーブ/スクロールヒートマップ、流入経路、PV、UV、全てのユーザーに対比した新規-再訪問の割合、平均滞在時間)を確認できます。

## ③ CTA要素をクリックしていないユーザー情報

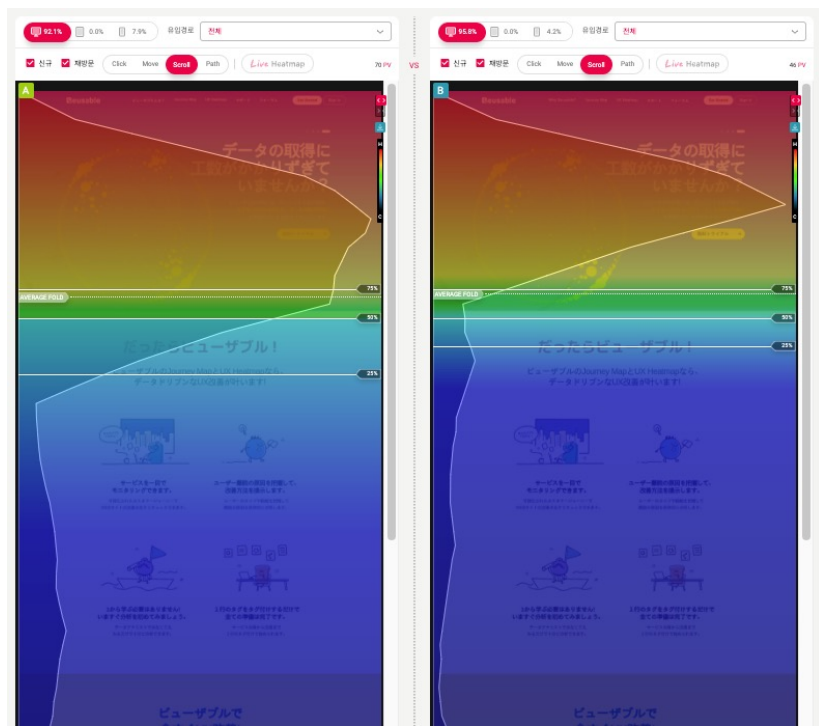
先に選択したCTA要素を「もう一度クリック」すると、該当要素をクリックしていないユーザーを基準にし、情報を再構成します。

# UXヒートマップ機能：A/B Testing

UIが異なるページを作成後、数回のクリックでA/Bテストを実施できます。CTAのテキストを即時に変更することができ、どのUXライティングが該当ページに適しているのか把握することができます。

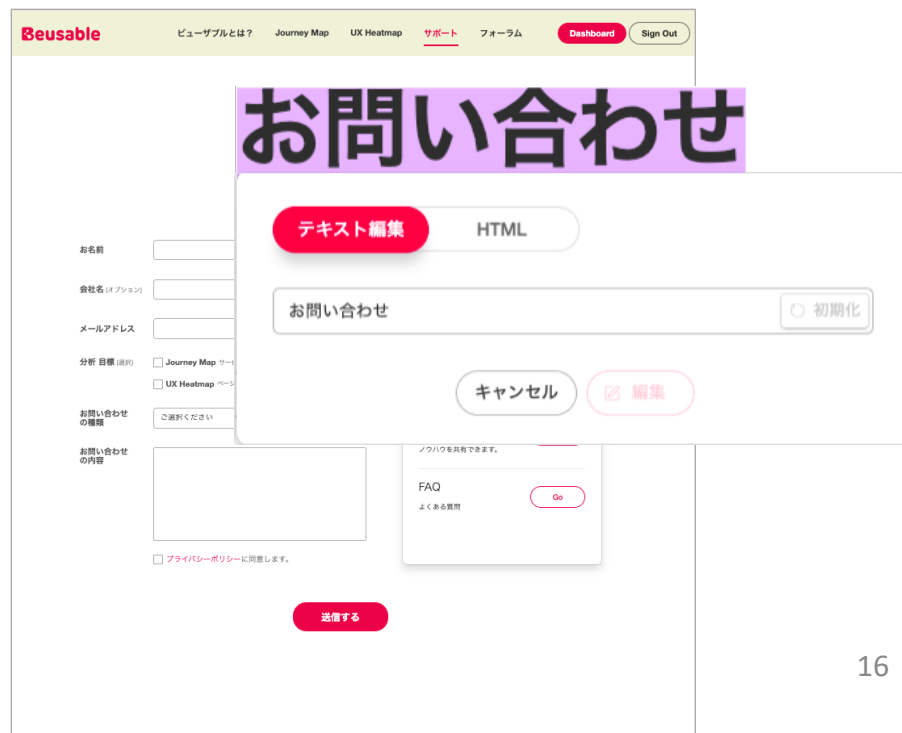
## 1 A/B Test - URL Split

BページのURLを別途制作し、ビューザブルに登録するだけで、自動的に一部のユーザーを、Bページに割当て、A/Bテストできる機能です。



## 2 A/B Test – UX Writing

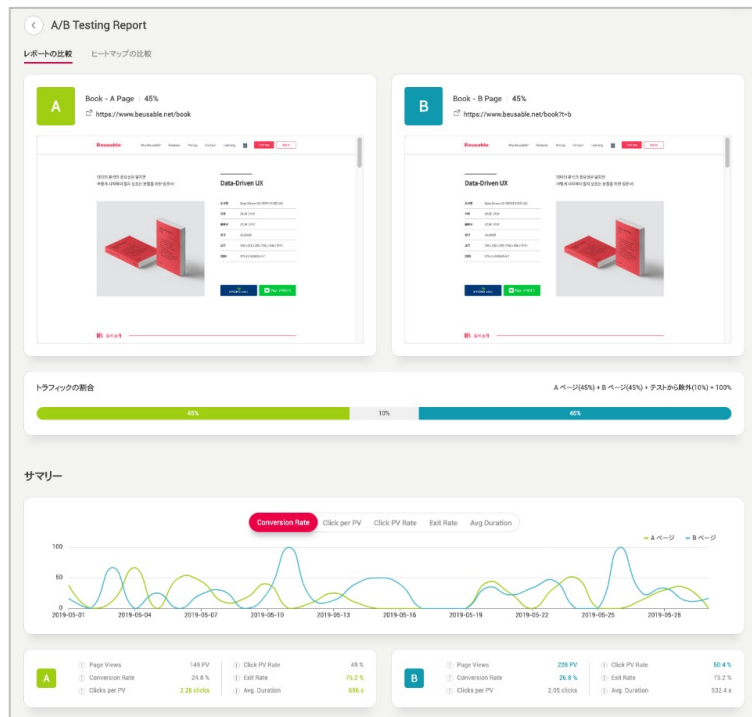
テキストを編集し、リアルタイムにWebサイトに反映できる機能です。テキストを編集するために、エンジニアやデザイナーに作業依頼をせずとも、A/Bテストできます。





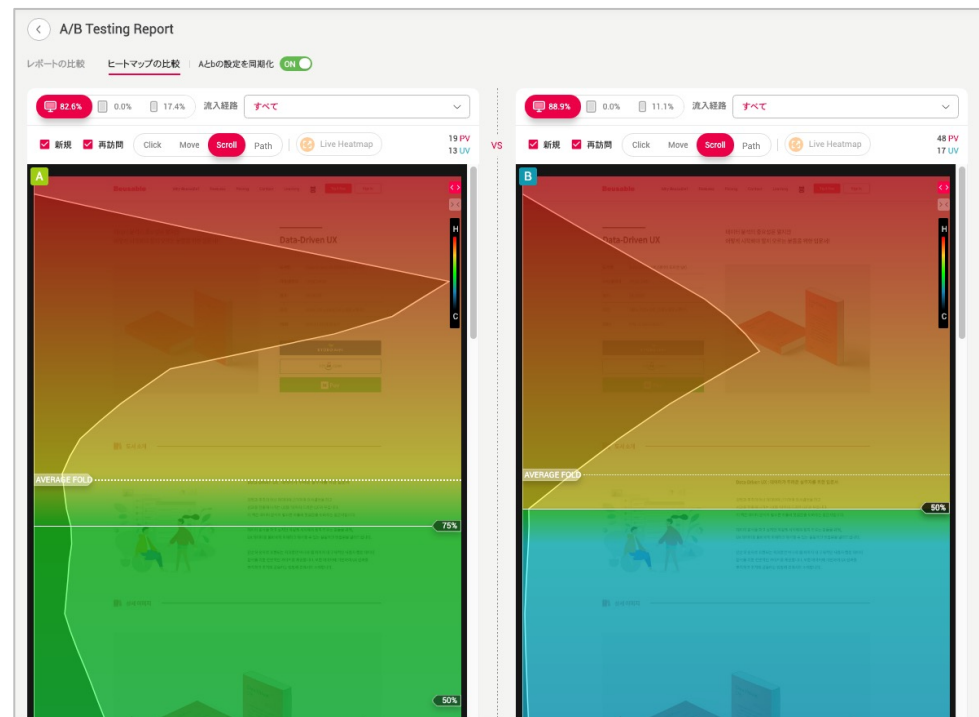
# UXヒートマップ機能：A/B Testing

UIが異なるページを作成後、数回のクリックでA/Bテストを実施できます。CTAのテキストを即時に変更することができ、どのUXライティングが該当ページに適しているのか把握できます。



## ① A/B テスト結果レポート & 遷移目標目標分析

ページ遷移率、離脱率、平均滞在時間など、データを比較できます。また、AとBのページのうち、目標ページへの遷移率が高いページを比較して、テストの成果を測定することができます。

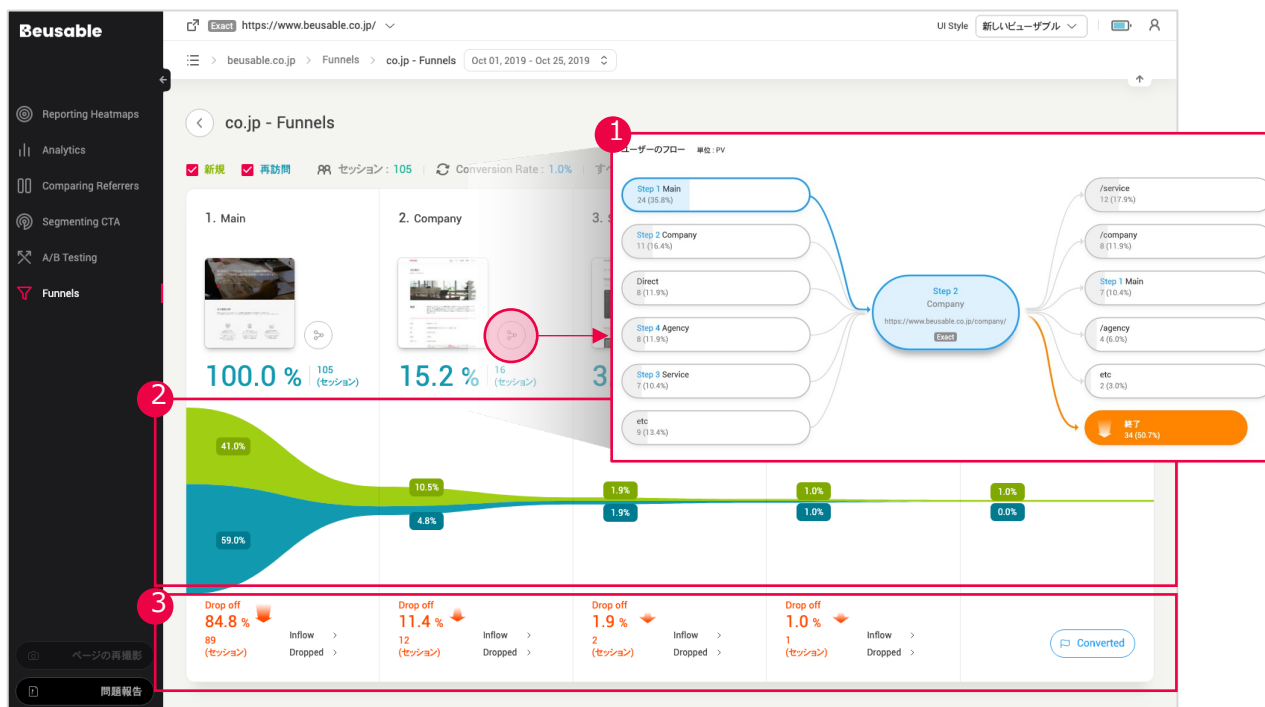


## ② ヒートマップで結果および比較分析

ヒートマップで結果を比較すると、指標には見えない定量的なユーザー行動やユーザー行動の変化など、把握できます。

# UXヒートマップ機能 : Funnels

ユーザーの流入からページ遷移まで、段階別にユーザーのデータを収集し、離脱率が最も高いページを集中的に改善できます。



## 1 ユーザーの行動フロー

訪問前/訪問後のランディングページから、ユーザーのフローを分析し、段階別に、最適なユーザーフローを確認できます。

## 2 全体, 新規, 再訪問ユーザーの段階別残存率及び離脱率現状を把握

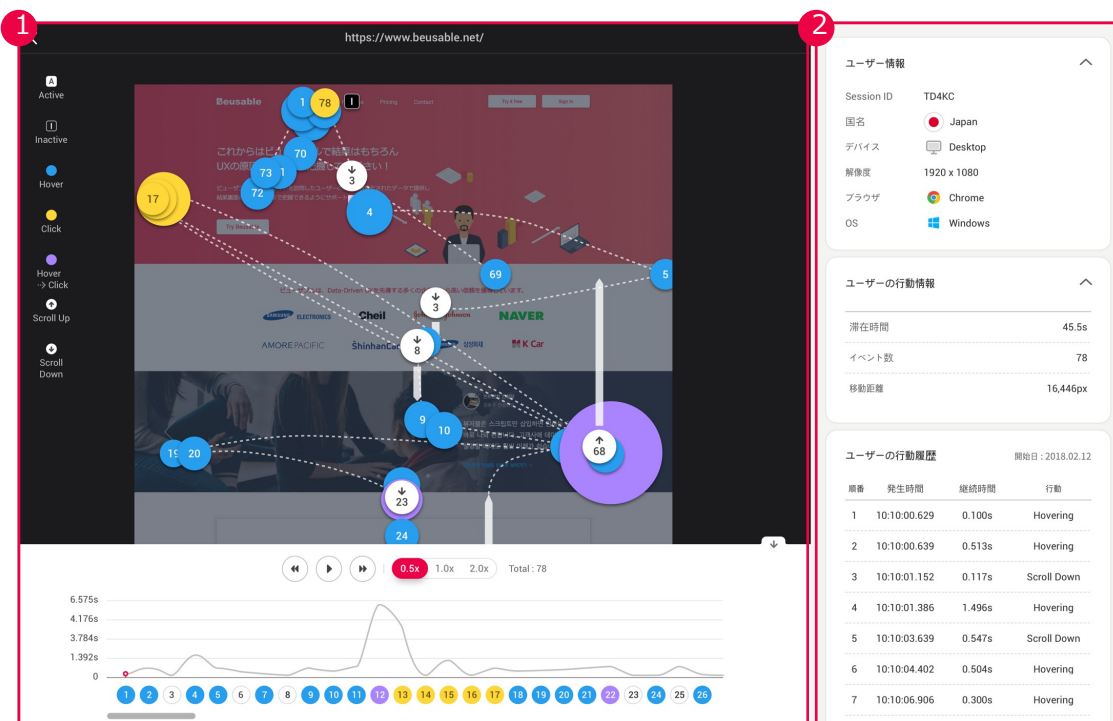
全体ユーザー、新規ユーザー、再訪問ユーザーなど、セグメント別に分けて、段階別のユーザー残存率、ユーザー離脱度を比較できます。該当ページを改善し、ユーザーの残存率を高められます。

## 3 ユーザー別閲覧シミュレーション

個々のユーザーが、ページ内でどのように閲覧し、どの順番でページを探索したのか、コンテンツ別滞在時間を確認できます。

# UXヒートマップ機能 : Session Report

特定のユーザーのページ内での移動フロー及びページ内で消費されたコンテンツの行程を確認できます。  
 コンバージョンしたユーザーはなぜコンバージョンしたのか、コンバージョンしなかったユーザーはなぜ途中で離脱したのか、  
 全てのユーザーの動きを記録し、確認したいデータに合わせて閲覧できます。



## 1 ユーザーのWEBサイト内の閲覧フロー及び行動

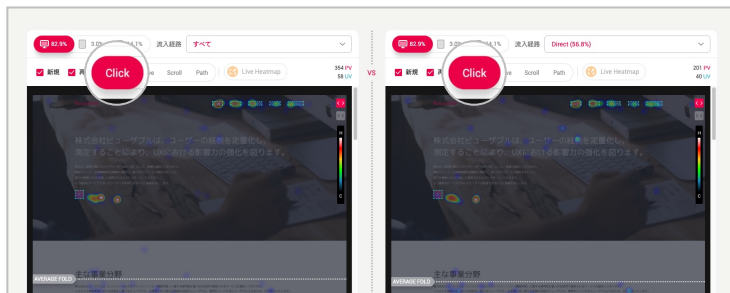
ユーザーのWEBサイト閲覧順番と滞在時間、行動情を確認できます。Hover to Click, Hover, Clickなどの情報を一目で把握できるように可視化します。

## 2 詳細セッション情報

個別ユーザーの地域、デバイス、解像度、ブラウザなどの基本情報とセッション時間による詳細行動情報を提供します。

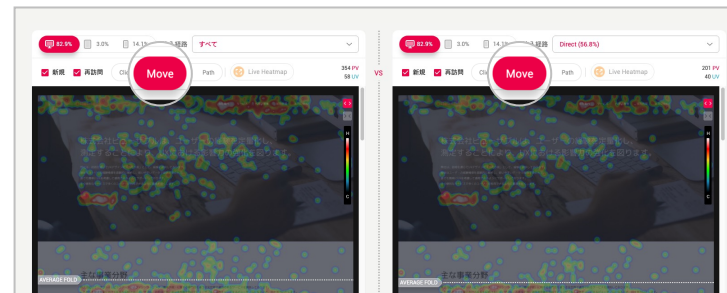
# UXヒートマップ機能：Comparing Referrers

自然検索や広告などの流入経路により異なるユーザー行動を、比較・確認できます。



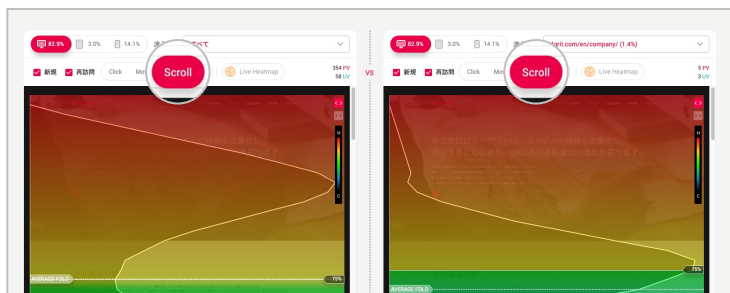
## 1 最終目的地比較

クリックヒートマップ比較で、ユーザーの関心コンテンツ及び最終目的地を比較できます。



## 2 関心及び行動分布比較

ムーブヒートマップを比較して、ユーザーがどの情報に関心を持っているのか、流入経路別に、ユーザーがWEBサイト内で、何に注目しているのかを比較できます。



## 3 活動程度比較

スクロールヒートマップと、アテンショングラフでユーザーがどこまでスクロールしたのか、ユーザーのスクロール到達率と、コンテンツ熟読率を比較できます。



## 4 コンテンツ探索フロー比較

パス・プロット(Path Plot)比較を通じて、コンテンツ探索フローと滞在時間情報を比較できます。

# UXヒートマップのユーザビリティ

## SaaS方式サービスのビューザブル

- 初期サーバー購入費用がかかりません。
- サーバーメンテナンスに必要な運営コストを最小化します。
- 簡単にアップグレードでき、数分で設置を完了できます。
- 時間と場所にとらわれず、ご利用いただけます。

## スクリプトコードをもとに提供するサービス

- トラフィック発生時、リアルタイムで分析し、データベースに保存できます。
- Cookieを基にデータトラッキングをするため、データ改ざんを最小化します。
- スクリプトコードを設置するだけで、すぐご利用いただけます。
- サーバー、もしくはネットワーク環境が変化しても別途、メンテナンス作業をする必要がありません。
- ストレージ占有率を最小化し、分析進行します。

安全性

正確性

ユーザー  
ビリティ

リアル  
タイム

拡張性

# UXヒートマップのユーザーコード収集情報

ビューザブルは個人を特定できる情報は収集しません。

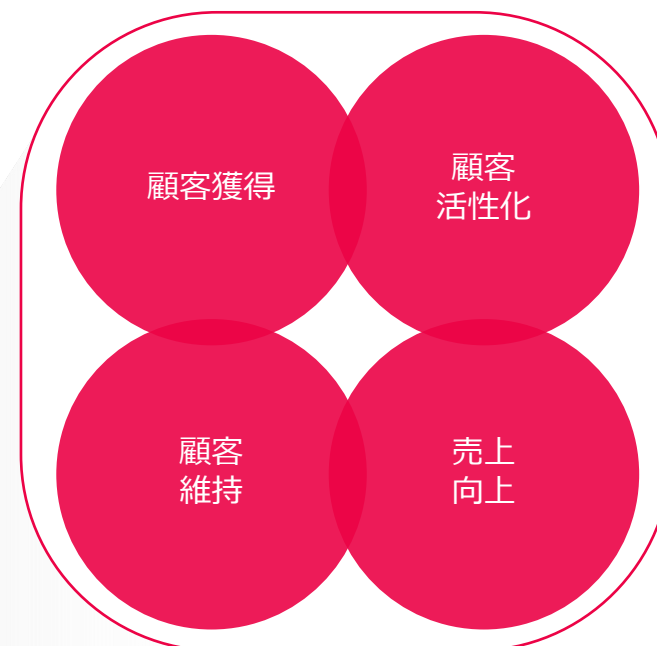
また、デスクトップのマウスイベント情報は、モバイルタッチイベントに代替されます。

基本情報	
情報種類	詳細説明
環境情報	デバイスタイプ
	ユーザーのOS情報
	ユーザーのブラウザエージェント
	ユーザーのブラウザ情報
	viewport, contents, screen size
URL 情報	現在URL
	流入URL
ネットワーク	ユーザーのIPアドレス
	アクセス時間
	アクセス終了時間

ユーザーイベント情報		
イベント種類	Desktop	Mobile
ページ遷移 関連	Click	Touch end
	Focus	
探索関連	Mouseover	Zoom in/out
	Mouse move	Swipe
スクロール 関連	Scroll	Scroll
その他	Visibility Change	Visibility Change
	Resize	
	Exposed	Exposed

# 一緒に使うと相乗効果が高まる、ビューザブル

ビューザブルはジャーニーマップの様なアクセス解析ツールと一緒に使用すると、相乗効果が高まります。ジャーニーマップで、WEBサイトのフローと動向を全般的に把握し、UXヒートマップでサイトごとの具体的な改善点を把握できます。



# お客様サポートプログラム

その他、お問い合わせは[www.beusable.net/contactus](http://www.beusable.net/contactus)にご連絡ください。

## お客様に合わせたご相談および技術サポート

---

- オンラインお問い合わせ及び、電話でのお問い合わせで運営マネージャーが迅速にサポート致します。  
また、専門家による技術サポートも致します。
- 英語、日本語、韓国語で専門的なサポートができます。
- 訪問による導入相談サポートも行っています。

## UX コンサルティングサポート

---

- 専門研究員が、データをもとに UXコンサルティングを提供しています。

## データ分析セミナー開催

---

- クライアントにサービス活用とデータ分析セミナーを開催しており、企業のデータをもとに意思決定を行うデータドリブン文化の構築および内在化をサポート致します。
- 定期的にセミナーを開催し、ビューザブルを活用したUX/UI改善のノウハウを共有致します。

## ガイド提供

---

- 設置からサービス利用、報告まで、サービスの活用段階別にお客様に分かりやすく、丁寧に、説明しているガイドを提供しています。



# お取引先及びビジネスパートナー

ビューザブルは、全世界のデータドリブンUXを主導する企業と共に事業を展開しております。

## グローバル



## 韓国国内



# サービス利用料金

	Trial	SaaS						Enterprise	
プラン名	Trial	Starter	Basic	Light	Standard	Premium	Pro	Cloud 0M	
プラン更新時期	14日利用後、契約終了	月額単位で更新							
提供 PV	1万	5万	10万	20万	30万	40万	50万	100万以上 ~1000万 未満 (100万 単位で 計測)	1000万 以上 ~  (1000万 単位で 計測)
ソリューション 機能	全て同じ								
料金 (税抜)	無料	¥ 9,000	単価: 1万PV/ ¥ 1,500						
		※ 有料プラン3ヶ月ご契約時、同じプラン1ヶ月無料で提供							
基本割引								10%	15%

## I よくある質問

**Q.** モバイル WEB/APPもビューザブルで分析できますか？

**A.** ビューザブルはWEB基盤サービスで PC 、タブレット、モバイル（ハイブリッドアプリのみ対応）を提供しております。

**Q.** ビューザブルはログインが必要なページも分析できますか？

**A.** 会員専用ページなど、ログインが必要なページも分析ができます。

**Q.** 個人情報が漏えいされる危険はありませんか？

**A.** ビューザブルは、訪問者が発生したマウスイベント情報とIPアドレス、Cookie情報で、ユーザーのイベントを分析するため、個人を特定できる個人情報は収集しておりません。そのため外部に情報が漏えいする恐れはありません。

## I よくある質問

- Q.** ビューザブルのトラッキングコードを挿入すると、ユーザーのWebサービスパフォーマンスに影響を与えませんか？
- A.** ビューザブルはWEBサイトローディングや、ユーザーがWEBサイトを閲覧・クリックする上で、遅くなるなどの影響を与えません。グローバルサービスを展開している企業にも、安定的にサービスを提供し、ご活用いただいております。
- Q.** Google Analyticsと一緒に使用する時、問題は起きませんか？
- A.** ビューザブルのトラッキングコードは、Google Analyticsタグ付け設定とは関係ないため、スクリプト間の衝突は発生しません。併用してご利用いただけます。
- Q.** どのような基準で料金プランを選択したら良いのでしょうか？
- A.** 分析するページの月間PV数(ページ訪問者数)を参考にし、料金プランをご検討いただければと思います。

# CONTACT US

ホームページ [www.beusable.net](http://www.beusable.net)  
Facebook [www.facebook.com/beusable.jp/](http://www.facebook.com/beusable.jp/)  
Instagram [www.instagram.com/with\\_4grit](http://www.instagram.com/with_4grit)

会社住所 東京都新宿区高田馬場1丁目28-10  
バンフォーレ三慶ビル4階  
株式会社ビューザブル

ホームページ  
お問い合わせ [www.beusable.net/ja/contactus](http://www.beusable.net/ja/contactus)  
サービス利用  
お問い合わせ 050-2018-5711  
[contact@beusable.co.jp](mailto:contact@beusable.co.jp)